

活躍する卒業生

滋賀県守山市立守山中学校
英語教諭

にたはら

みき

仁田原 美希さん

Profile

プロフィール

2006年3月 教育学部学校教育教員養成課程 卒業
2006年4月 学校法人平安学園 平安中学校・高等学校
(現:龍谷大学付属平安中学校・高等学校) 常勤講師
2008年4月 滋賀県守山市立守山中学校 英語教諭

教師を目指されたきっかけは?

幼い頃は人前で話すのはすごく苦手で、教師になることなんて考えてもいませんでした。

中学の頃、生徒のことをすごくよく見ていてくださる先生に出会ったのがきっかけで、教師になりたいとはじめて思いました。

そして、3年生の時教育実習^{※1}において、生徒たちが私に対して心を開き、いろいろなことを学んでいてくれることを実感し、強く教師になろうと心に決めました。

教師になってみてどうですか?

大変なこともたくさんありますが、自分の思いや伝えたいことが、たとえ少しでも生徒に伝わっているとわかると、いつも「やっていた良かった」と思います。

でも、私かもし誤りを犯せば、私だけで終わるのではなく、生徒たちの一生にも影響が及ぶこともありますので、その責任の重さも感じています。ですから、一つの話をする時も、行動を起こす時も、今まで以上に深く考えるようになりました。



大切にしているのは「理念をしっかりと持つこと」。
そうすることで、一貫した指導ができると思っています。

学校での1日は?

現在1年5組のクラス担任と1年生3クラス、2年生1クラスで英語の授業を担当しています。毎日、授業、会議、生徒指導、部活動など1日があっという間に終わる感じです。

部活動は、女子ソフトテニス部の顧問をしています。私自身テニスは全くの初心者ですが、周囲の先生に支えていただいたり、本などを読んで勉強したりしています。また、技術的なことと併せ、あいさつや後片付けなど礼儀作法がなぜ大切なのかも教えています。そしてそれ以上に、いろいろな悩みを聞き、精神面でサポートもしてあげたいと思っています。

最近では、「先生はいろんな面で私たちをサポートしてくれるから一緒に頑張っていこう」と言われています。でも、「もうちょっとテニスを勉強してな」とも…。

教える上で、また、接する上で大切にしていることは?

一番大切にしていることは、「こんな生徒を育てたい」との理念をしっかりと持つことです。私の理念は「世のため人のために努力できる人間を育てること」です。この理念をしっかりと持つことで、一貫した指導ができると思っています。ですから、この理念を「私は、こんな生徒を育てたい!」と題して、学級通信に掲載し、生徒や保護者の方に説明しています。

また、私はいつも「あいさつや掃除など、当たり前のことを毎日続けよう、その積み重ねによって誰からも信頼される人間になれる」と生徒たちに言っています。まずは自分から動き、自分を磨くことで周りへよい影響を与えていくことができる、このことも、生徒と接する上で大切にしていることです。

取材を終えて

英語の授業中の教室にお邪魔いたしました。教室全体に行き届くはつきりとした声で、指導方法も工夫され、生徒の心を引き込む活き活きとした授業でした。

また、インタビューの終わりに、「一生の中で、会うべき人には必ず出会います。それは絶妙のタイミングでしか出会えません。このインタビューも一つの出会いだと思っています。私の考えを皆さんに知っていただけたことがありがたいと思っています」とおっしゃっていました。

よき先生、よき指導者として、益々のご活躍を期待いたします。

これからの目標はなんですか?

滋賀県で生まれ、小学校から大学まで滋賀県で学んできました。今、自分自身が教師として教壇に立っていただけるのも、滋賀県で教育を受けたからだと思っています。今度は、私が教師になり、生徒に「滋賀の教育っていいな」と思ってもらうこと、これが、私が今一番目指していることです。

また、「自分は何のために教師をしているのか」「どういう生徒を育てるのか」このことを常に心の中において、その基本を忘れずに教師として成長していきたいと思っています。

滋賀大生へのメッセージ

滋賀大学はアットホームな雰囲気があり、勉強以外のこともいろいろ学ばせていただきました。中でも、たくさんの人と出会わせていただき、その人たちと今でも親交があるというのは、とてもありがたいことです。皆さんもたくさんの方と出会い、多くの友人、そして「師」と呼べる人を作ってください。

また、私自身、教師になりたいとの目標をあきらめませんでした。目標をかなえるためには、幾度となく壁が立ちほだかることがあるかもしれません。しかし私は、壁は乗り越えられる人の前にしか現れないと思っています。ですから、目標をあきらめずにチャレンジしてください。そして、自分の目標をしっかりと持ち、それを達成するための行動ができるように、4年間を有効に使ってください。



※1) 教員免許取得のための必修単位である。本学の場合、3年生時に4週間、教育学部附属学校及び協力校において実施している。